

社会資本総合整備計画

春富地区都市再生整備計画

平成23年3月30日

長野県伊那市

都市再生整備計画(第3回変更)

はるとみ
春富地区

長野県 いな伊那市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	伊那市	地区名	春富地区	面積	976 ha
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 20 年度 ~ 平成 22 年度				

目標 大目標 公共施設の耐震化などの災害対策を総合的に実施し、災害に強い安心・安全なまちづくりを実現する。 目標1 災害に強いまちづくり 目標2 誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は東海地震防災対策強化地域に指定されており、総合的な地震対策が必要な地域である。 ・地区内の自主防災組織の組織率は100%となっており、地域住民の防災に対する意識は高い。また、災害時要援護者避難支援マップや自主防災組織連絡網の整備も進んでおり、災害時の体制づくりが着実に進められているが、避難所に指定されている公共施設の耐震化や一部避難経路の改良等が進んでいないのが現状である。 ・地域住民からも施設整備に対して強い要望がある。
--

課題 ○総合的な災害対策の実施のため、以下の施設等の整備が課題となっている。 ・避難所に指定されている公共施設の耐震化 ・災害時に安全に通行できる避難経路の整備
--

将来ビジョン(中長期) ○新市まちづくり計画 新市の将来像「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市～人と歴史と文化を育む 活力と交流の美しいまち～」を実現するため、基本目標に「自然や景観を守り活かすまちづくり」を掲げ、「安心・安全なまちづくり」を主要施策とし、新潟中越地震等の教訓も生かしながら風水害の災害が発生した場合でもいち早くライフラインや情報通信手段が確保できる体制をとり、住民の安全を守ることを目指す。 ○伊那市防災計画 基本方針 さまざまな災害発生要因に対応した防災対策を実施し、災害に強いまちづくりを推進する。
--

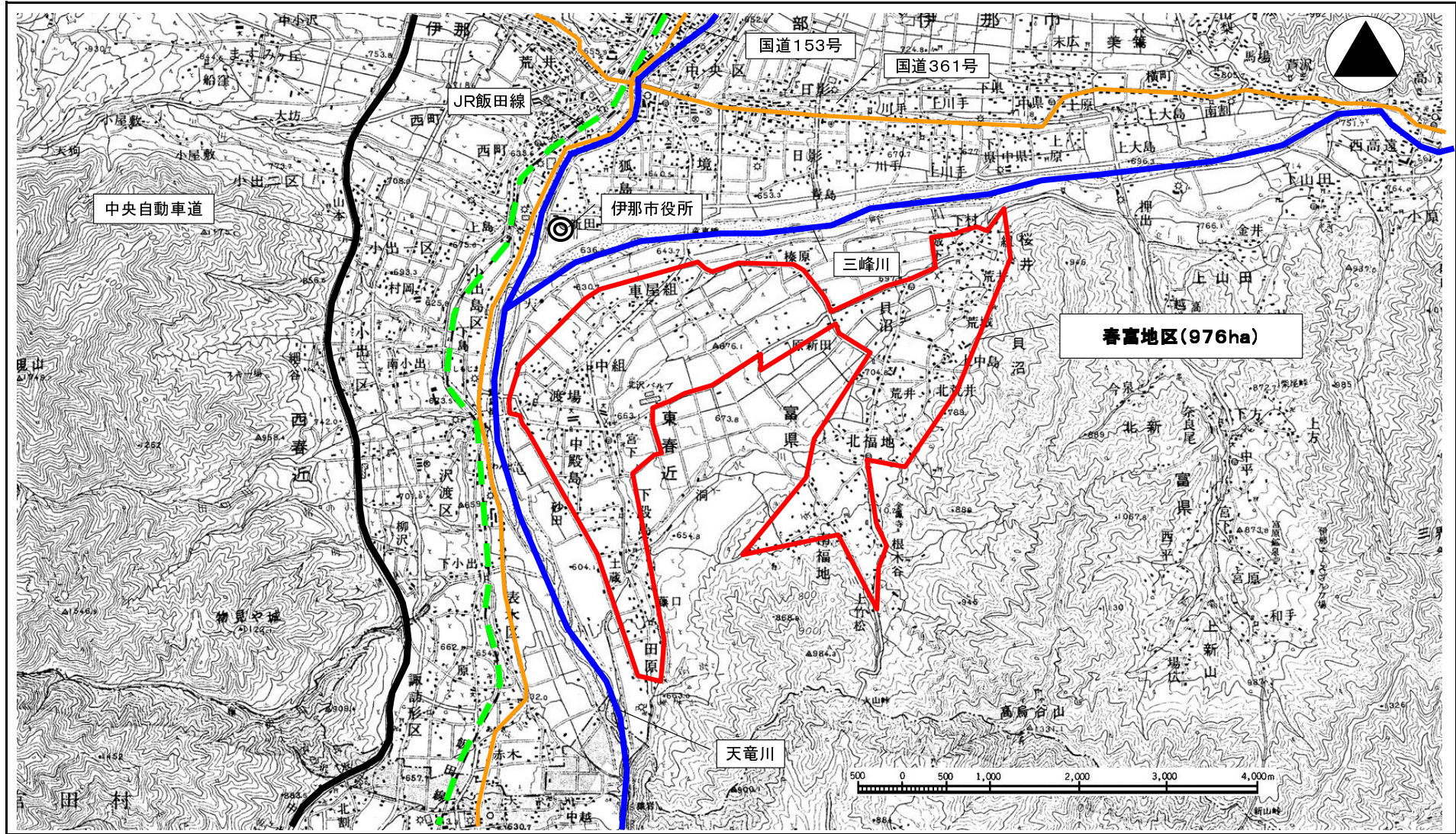
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
避難所耐震化率	%	避難所に指定されている公共施設の耐震化率	避難所の耐震化による災害に強いまちづくり	35	H19	60	H22
避難経路整備率	%	基幹避難所周辺道路の整備率(幅員5m以上)	基幹避難所周辺の避難経路の整備による誰もが安全に暮らせるまちづくり	25	H19	32	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・災害に強いまちづくり 避難所に指定されている公共施設の耐震診断・耐震補強工事・改築等を実施し、災害に強い施設を整備する。</p>	<p>・春富中学校体育館耐震補強工事(基幹事業)</p> <p>・富県小学校体育館・管理教室棟耐震診断(提案事業) ・集会施設建設補助(提案事業)</p> <p>・木造住宅等耐震診断事業(関連事業) ・富県小学校体育館・管理教室棟耐震補強工事(関連事業)</p>
<p>・誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり 災害時に必要な資機材を備蓄する防災備蓄倉庫の整備と避難所周辺の避難経路の整備を行う。</p>	<p>・市道荒井1号線(基幹事業) ・市道学校南線(基幹事業) ・市道貝沼学校線(基幹事業)</p> <p>・避難支援地図及び自主防災組織連絡網整備事業(関連事業) ・防災備蓄倉庫建設(関連事業)</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

春富地区(長野県伊那市)	面積 976 ha	区域 富県地区の一部、東春近地区の一部
--------------	--------------	------------------------



春富地区(長野県伊那市) 整備方針概要図

目標	大目標 公共施設の耐震化などの災害対策を総合的に実施し、 災害に強い安心・安全なまちづくりを実現する。	代表的な 指標	避難所耐震化率	(%)	35	(19年度)	→	60	(22年度)
	目標1 災害に強いまちづくり		避難経路整備率	(%)	25	(19年度)	→	32	(22年度)
	目標2 誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり								

